

森林部会主催 平成28年度

「第2回 間伐研修会」

日時:10月23日(日)8:50~15:30、晴れ 場所:塚原ボランティア林(林道足柄線) ヒノキ径φ15cm前後

<森林部会 石川 裕一 12期 >

(写真/キャプション:滝澤 洋子 5期、石川 裕一 12期)

● 研修目的: 滑車・フェリングレバー等の道具を利用する基本的な技量向上と合わせ、実際に「間伐」のインストラクターとして参加者をリードしていく作業指導の要領や安全への配慮を習得し、お互いに確認し合い、理解し、共有化をしていただくことを目的とします。

● 研修スケジュール:

8:50~ 9:10 オリエンテーション 9:10~ 9:20 間伐整備マニュアル改定版について

9:20~12:00 現場へ移動、各班に分かれて実習

12:00~12:30 昼食

12:30~14:30 実習

14:30~ 移動 道具清掃と返納

14:50~15:30 意見交換・講評/解散

● 資料: 「間伐作業マニュアル」(Ver.1.2)、安全チェックシート(間伐)

10月23日、塚原ボランティアフィールドにて今年度2回目の間伐研修会が開催されました。開催に当たって会場近くのヘアピンカーブ駐車場でオリエンテーションが行われました。参加者は17名。

最初に森林部会滝澤部会長から、「自分で伐ろう。道具の使い方を身に着けよう。日頃の疑問を班内で話し合い、さらに参加者間で共有出来るように後で発表しよう。」と開会の宣言がありました。次に佐藤講師から、改定中の間伐マニュアルの説明が行われ、松永講師からは、「木は太くないが、太いと思ってやって、質を高めて下さい。」と激励の言葉。

準備運動の後、フリーの部会長と講師を合わせた21人が3班に分かれてヒノキの植林帯へ入りました。昨年まで県民参加の森林づくりで枝打ちを行っていた若い森で、木はそれほど大きくないが、急斜面、必ず掛かると言う研修にはもってこいの森でした。KYK活動「安全確認ヨシッ!」の指差唱和で始まり、インストラクター役・伐倒者役を交代で経験し、全員が一本以上倒すことができました。アンカーストラップの結び方バリエーション、フェリングレバーの使い方、さらにプルーシックループと滑車を組み合わせた3倍力システムについても学ぶ機会があり、有意義な研修会になったと思われます。暗かった森も、終了時にはいくらか明るくなり、参加者は何かを持ち帰ってくれたことと思います。終了ミーティングの時、牡鹿のラブコール(ラットコール)が響き渡り、一瞬、会が中断するハプニングがありましたが、怪我人もなく、安全に終了できたことを皆さんに感謝します。



オリエンテーション



KYK 活動「安全確認ヨシ!」



スリングの結び方はいろいろあります

○講師:森林部会 石川 裕一⑫、松永廣⑪、佐藤武晴⑤ (担当班順)、全体監視:滝澤 洋子⑤

○幹事:石川 裕一⑫ 松永 廣⑪・滝澤 洋子⑤

○参加者(研修者)17名: 小清水⑤、内野⑨、水津⑨、小笠原⑩、宮下⑩、湯浅⑪、小池⑫、澤村⑫、永松⑫、宇田川⑬、北村⑬、斉藤⑬、古舘⑬、水上⑬、小松⑭、立花⑭、水野⑭、

補足: KYについて (空気Kが読めないYのようなおちより語ではありません。それよりずっと前からの実績歴史のあるものです) KYT(危険予知訓練 Kiken Yochi Training) と KYK(危険予知活動 Kiken Yochi Katudou) を同じものとして取り組んでいる企業や建設現場もあるようですが、厳密にいうと、KYT(危険予知訓練)は、現場でのKYのために準備として事前に行うもので、KYK(危険予知活動)は、現場でその日の作業開始前に行うものとして区別できます。(広報部 松本)